

# 対面授業再開に向けたガイドライン

## 【対面授業再開の基本方針】

学生や教職員の命と安全、健康を守り、ならびに感染拡大防止の社会的責任を果たしながら本学における学修を継続的に提供するため、6月第2週以降の授業運営については下記の通りと致します。

### 1. 授業再開の方針

- ① 遠隔授業を基本とし、段階的・限定的な対面授業の開始
- ② 対面授業の開始は6月8日（月）以降

### 2. 対面授業の実施方法

- ① 1日1学年の分散登校（具的な対面授業実施日等については後日連絡）
- ② 対面授業も複数教室に分散しソーシャルディスタンスを確保

### 3. 対面授業受講に必要な条件

- ① 2週間以上、身体症状がないこと
- ② 登校日の朝の体温が37.0度以下であること
- ③ 当日の健康チェック項目で全ての基準を満たすこと

# 1 学校生活の再開について

## 1. 学生生活について

国の専門家会議で示された「新しい生活様式」に基づき、学生生活を送ることを目指します。日常的に感染予防を実践するため、学生の皆さんの協力が不可欠です。

### 「新しい生活様式」の実践例

#### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びにいくなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

#### 移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

#### (2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒  咳エチケットの徹底  こまめに換気
- 身体的距離の確保  「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



#### (3) 日常生活の各場面別の生活様式

##### 買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

##### 娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

##### 公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

##### 食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

##### 冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

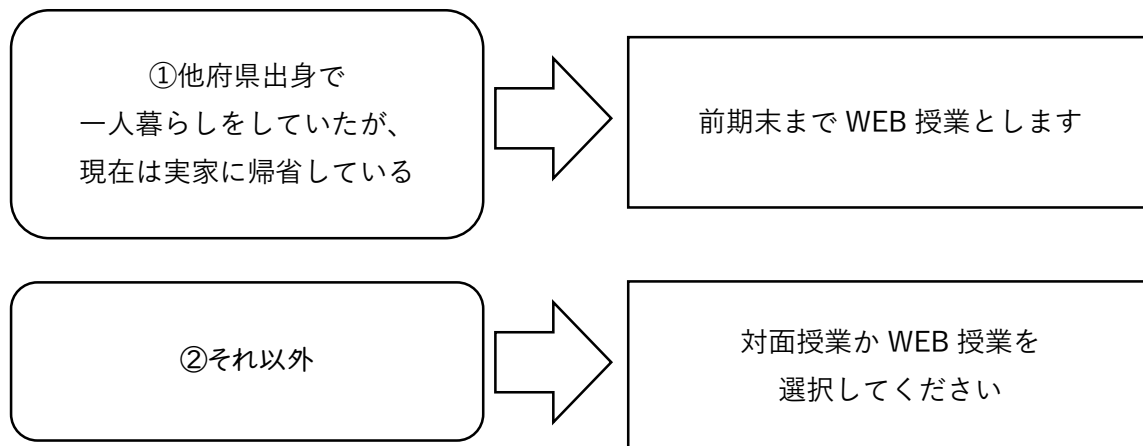
#### (4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務  時差通勤でゆったりと  オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン  名刺交換はオンライン  対面での打合せは換気とマスク

## 2. 対面授業再開について

### 1) 受講方法の選択について（全学生）

- (1) 6月第2週目から前期終了までの間、対面授業もしくはWEB授業のどちらを受講するかは、個別に選択し登録してください。登録方法は追ってご連絡いたします。
- (2) 登録後の変更は、演習3日前、講義当日までに教務部までお申し込みください。
- (3) 対面授業かWEB授業かの判断は以下を参考にしてください。



#### ※WEB授業を推奨する場合

- ①他府県出身で現在は実家に帰省している学生
- ②府県を越えての通学が必要な学生
- ③長時間、公共交通機関を利用して登校する学生
- ④日常的に不特定多数の人に接する機会のある学生（アルバイト等）

### 2) 健康管理について（全学生、教職員）

- (1) これまで同様、朝、昼、晩の体温測定と健康状況の記録をWEBポータルで提出することを徹底してください。
- (2) 37.5度以上の発熱がある場合は、帰国者接触者センターに連絡し指示に従ってください。
- (3) 万一、新型コロナウイルス感染症に感染した場合を考え、いつ、どこで、誰と、何をしたかについて記録してください。
- (4) 家族や友人など、濃厚接触していた方が新型コロナウイルスに感染した場合は、速やかに大学事務局へご連絡ください。(TEL:075-311-0123)
- (5) 上記に加え、別紙「対面授業再開時の感染症防止対策について」を必読し、健康管理を徹底してください。

### 3) 対面授業について（対面授業受講者）

- (1) 受講者間の距離は概ね 2m として使用不可の座席を設けます。受講希望者が多い場合は教室を複数に分けての受講となります。また、登校日を指定する場合があります。
- (2) 教員はマスクの着用はもとより、状況によってはフェイスシールドを装着して講義・演習を行います。

### 4) 学内生活について（対面授業受講者）

#### (1) 各自に必要な持ち物

- ①清潔なハンカチ・ティッシュ
- ②マスク
- ③マスクを置く際の清潔なビニールや布等

#### (2) 登校時

- ①自宅から必ずマスクを着用し登校してください。
- ②入館前に手指アルコール消毒と体温測定（非接触式体温計）を行います。  
※37.5 度以上を測定した場合は入館できません。帰国者接触者センターに連絡し指示に従ってください。
- ③玄関（靴箱周辺）ではソーシャルディスタンスを守り、混み合う場合は前の人が進んでから靴の履き替え等を行ってください。また不用な会話は慎んでください。
- ④当面の間、学内は左側通行とします。
- ⑤上記に加え、別紙「対面授業再開時の学生移動ルート」を参照してください。

#### (3) 講義室等の利用

- ①入室前に手指アルコール消毒を徹底してください。
- ②教室では指定された席に着席してください。
- ③教室内での友人との会話は一定の距離を保ち飛沫感染の回避を徹底してください。
- ④教室に設置してあるアルコール除菌シートでこまめに机周りやドアノブを除菌してください。
- ⑤授業中も 30 分ごとに窓を開け、換気にご協力ください。

### 5) トイレ利用時（感染リスクが非常に高いと考えられるため留意してください）

- (1) トイレ内での会話は原則禁止します。
- (2) トイレの蓋は閉めて汚物を流してください。
- (3) 便座クリーナーを利用して清潔を保ってください。
- (4) 各自ハンカチを携帯し、友人との貸し借りは禁止します。
- (5) 利用者が多い場合は、トイレの外でソーシャルディスタンスを守り、一人退室した

ら一人入室する等、密にならないよう各自気を付けてください。

6) 昼休憩、昼食について

- (1) 昼食前に健康チェックを行い WEB ポータルで提出し、有症状者は教職員に申し出てください。
- (2) 食事前後の手洗いを徹底してください。
- (3) 昼食は登校前にお弁当等を用意してください。(1 階パン自販機は利用できます) 昼休憩中の学外への外出(昼食等買い物)は控えてください。
- (4) 教室内の指定された席(教室の自席)で昼食をとってください。
- (5) 食事中はマスクが着用できないため、特に注意が必要です。正面を向いて食事し、会話は控えてください。
- (6) 食後にごみが出た場合は、燃えるごみとプラスチックごみを分別してゴミ箱に捨ててください。
- (7) 昼休憩終了 10 分前から 5 分間換気をしてください。

7) 下校時

- (1) 講義終了後は速やかに下校してください。
- (2) 玄関(靴箱周辺)ではソーシャルディスタンスを守り、混み合う場合は前の人が進んでから靴の履き替え等を行ってください。また不用な会話は慎んでください。

## II 大学施設の利用について

### 1. 図書館の利用

詳細は「対面授業再開後の図書館利用について」でご確認ください。

### 2. PC室の利用

- 1) 基本的には閉室とします。
- 2) 課題探求論文等の作成で利用される場合は事務局に申し出てください。
- 3) 利用の場合はソーシャルディスタンスを守り、使用可能 PC のみの利用とします。
- 4) 感染予防対策は通常と同じく徹底してください。

### 3. ロッカールームの利用

- 1) 男子ロッカールームは通常どおり利用可ですが、滞在時間は最小限とし会話は禁止します。
- 2) 女子ロッカールームは一定の利用制限のもと使用可とします。※更衣は利用不可。
- 3) 女子の更衣は大学が用意した臨時更衣室で行い、滞在時間は最小限とし会話は禁止します。

### 4. その他施設利用について

3密、飛沫感染の回避を徹底することが難しい施設については、当面の間、利用を禁止します。

・ 体育館      ・ 茶室      ・ 食堂      ・ 1階サロン      ・ 2階サロン

## Ⅲ 大学における活動について

### 1. イベントの開催

#### 1) オープンキャンパス

- (1) 消毒の徹底、3密の徹底的な回避など適切な感染防止策を講じます。
- (2) 参加者のマスク着用を徹底し、室内の換気に努めます。
- (3) 屋内開催のため、収容定員の半分程度以内の参加人数とします。

#### 2) 今年度、中止するイベント

京都府の「大学等の再開に向けた感染拡大予防のためのガイドライン」に則った運営が難しいため、下記のイベントは中止とします。

- ・教育懇談会（保護者向け）
- ・就職ガイダンス
- ・大学祭

### 2. クラブ活動について

3密、飛沫感染の回避を徹底することが難しいため、当面の間活動を禁止します。